

## <プレスセミナーのご案内>

### 「医薬品開発プロセスの最適化と創薬コンサルティング企業の役割」

コロナ禍で顕在化した日本の新薬開発における課題と臨床薬理研究の現在地  
最先端モデリング&シミュレーション技術の重要性と国内企業活用事例

以下のとおり「医薬品開発プロセスの最適化と創薬コンサルティング企業の役割」に関するプレスセミナーをメディアの皆様向けに開催いたします。近年、コロナ禍で日本の新薬開発における課題が浮き彫りになっています。本セミナーは、1日でも早い新薬の上市を待つ患者さんにとって、最先端の臨床薬理学がどのように貢献できるのか、最新技術と創薬市場への取組等について、メディアの皆様にご理解を深めていただくことを目的として実施するものです。

本プレスセミナーでは、医薬品開発プロセス改善に関する、アカデミア、ビジネスでのフロントランナーである登壇者への取材が可能です。また、会場の他にオンラインでの参加も可能ですので、ご多忙中とは存じますが、ぜひご参加を検討いただけますと幸いです。

- 日時：2022年8月31日（水）14:00～15:00
- 場所：フクラシア八重洲／オンライン
- 定員：対面 15名程度・オンライン 40名程度（先着順・参加費無料）
- 対象：新聞・通信社などの記者、医療専門メディア、医療ジャーナリスト・ライター
- 主催：サターラ合同会社
- 共催：大分大学医学部

#### ■ コロナ禍で顕在化した迅速な医薬品開発の必要性和、日本の「ドラッグ・ロス」の可能性

コロナ禍における欧米に比した日本のワクチン承認の遅れや5月の緊急承認制度の成立など、迅速な医薬品開発に対する社会の要請はますます高まっている一方で、治験にかかる手続きやコストから、近年製薬会社における日本向け医薬品開発の優先度低下が指摘されています。こうした状況は国内で新薬にアクセスできない「ドラッグ・ロス」を引き起こす可能性がある上、創薬プロセスにコストがかかり続ける状態は医療費削減の観点からも望ましくありません。

このように今日の日本の医薬品開発においては、創薬から承認までのプロセスを最適化することが喫緊の課題であり、科学的・定量的な薬効の評価とそれに基づいた適切な意思決定が求められています。

#### ■ 日本の医薬品開発の課題とその解決策を、アカデミア・ビジネス両面から紹介

このような背景のもと今回サターラは、日本の医薬品開発における課題と、解決策としてのモデリング&シミュレーションの意義についてセミナーを開催します。日本で初めて「臨床薬理学」を臨床医学の中に位置づけた大分大学医学部から上村尚人先生をお招きし、日本の医薬品開発における課題と、それに対する研究の最前線をご紹介します。また、サターラ日本法人社長のモンタルト・ジェームスよりサターラの創薬コンサルティングビジネスについて、コンサルタントの長谷川より、日本国内におけるモデリング&シミュレーション活用の現場を、大手製薬企業との医薬品開発の事例・成果とともにご紹介します。

## サターラ合同会社 プレスセミナー 開催概要

- 日時： 2022年8月31日(水) 14:00~15:00 (受付開始は13:30)
- 会場： フクラシア八重洲 (東京都中央区八重洲 2-4-1 住友不動産八重洲ビル3F)  
オンライン
- 登壇者： 上村 尚人 / 大分大学医学部臨床薬理学講座・教授、  
同附属病院総合臨床研究センター・センター長  
モンタルト・ジェームス / サターラ合同会社 社長/マネージング・ディレクター  
長谷川 真裕美 / サターラ合同会社 Integrated Drug Development 部門  
シニア・ディレクター
- 内容：
  - (1) 国内における創薬開発の現状と展望 (仮) / 上村 尚人先生
  - (2) 創薬コンサルティング企業とサターラについて (仮) / モンタルト・ジェームス
  - (3) 最先端モデリング&シミュレーション技術の重要性と国内企業活用事例 / 長谷川 真裕美

### ■ 登壇者プロフィール

#### 上村 尚人 先生

大分大学医学部臨床薬理学講座・教授/同附属病院総合臨床研究センター・センター長



大分医科大学医学部医学科、大分医科大学大学院医学研究科生化学系専攻(臨床薬理)修了。博士号取得。日本国内で臨床内科を経たのち、1998年にカリフォルニア大学サンフランシスコ校 臨床薬理部門に留学。その後米国メルク社メルク研究所にて、臨床薬理部門ディレクター兼シニア・プリンシパル・サイエンティストとしてグローバル医薬品開発に従事し帰国。2022年現在、大分大学医学部臨床薬理学講座教授、同附属病院臨床薬理センター長、同附属病院総合臨床研究センター長。

#### モンタルト・ジェームス

サターラ合同会社 社長/マネージング・ディレクター



米国ペンシルバニア州立大学卒業。サーモフィッシャーサイエンティフィック、アボットジャパンを経て、2021年、サターラ合同会社の社長兼マネージングディレクターに就任。日本における新規事業立ち上げや外資サービスのローカライゼーションに精通している。

## 長谷川 真裕美

### サターラ合同会社 Integrated Drug Development 部門 シニア・ディレクター



東京大学薬学部薬学科、東京大学大学院薬学系研究科分子薬学専攻修了。薬剤師免許取得。武蔵野大学にて薬学博士号取得。

武田薬品工業、プリストルマイヤーズスクイブを経て2019年サターラに入社。15年以上にわたり、臨床薬理学、ファーマコメトリクスを用いた腫瘍/免疫疾患、関節リウマチ、心血管等の早期・後期開発プログラムに携わっている。

#### ■ 留意事項

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況により本セミナーは変更・中止になる場合があります。
- ※ 当日は、受付時に感染対策として検温・消毒を実施し、適切な間隔で座席をご案内いたします。また、マスク着用でのご参加にご協力をお願いいたします。
- ※ 37.5度以上の発熱、体調のすぐれない方、ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃる方のご参加はお控えいただきますようお願いいたします。

#### ■ サターラについて（本社：東京都港区、社長：モンタルト・ジェームス）

サターラはこれまで国内外の多くの製薬企業に対し、新薬承認に不可欠なデータを分析するモデリング&シミュレーション・ソフトウェアとコンサルティングサービスにより、医薬品研究開発プロセスにおける創薬・開発リスクの予測と意思決定のサポートをおこなってきました。2014年以降8年連続で米国FDA新薬承認全体の90%に貢献しており、世界中の2000社を超える製薬企業、主要学術機関や各国の規制当局がサターラのコンサルティングサービスやソフトウェアを利用しています。

#### ■ ご取材に関するお問い合わせ先

サターラ広報事務局（株式会社プラップジャパン内）

TEL：070-2161-7051（加納） 070-2161-7015（有賀）

E-mail：certara\_pr@prap.co.jp

## ご返信シート【サターラ合同会社 プレスセミナー】

2022年8月31日（水）14:00～15:00（会場・オンライン開催）

本返信シートにご記入の上、8月30日（火）までに下記のメール、FAX または申込フォームにてご返信ください。オンライン参加の場合、お申込みいただいた方に視聴方法を別途ご案内いたします。

### 【返信先】

①E-mail : certara\_pr@prap.co.jp    ②FAX : 03-4580-9142

③参加申込フォーム : <https://forms.gle/d8grRRnr4iba34No9>

### 【お問い合わせ先】

サターラ 広報事務局（株式会社ブラップジャパン内）加納・有賀

TEL : 070-2161-7051（加納）／070-2161-7015（有賀）

E-mail : certara\_pr@prap.co.jp



<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加 <input type="checkbox"/> 欠席（資料送付希望）	
貴社名	
貴媒体名	
貴部署名	
フリガナ ご芳名	
ご同伴者名	合計（     ）名
撮影	有〔スチール（     ）台・ムービー（     ）台〕・無
ご連絡先 ※オンライン参加の際は参加者 全員のメールアドレスをご記入下 さい	TEL : E-mail :
その他ご要望など	
<p>&lt;個人情報のご記入にあたって&gt; ご記入頂きました個人情報は、今回のご取材関連の出席者管理・ご連絡のみに利用いたします。本プレスセミナー関係者以外の第三者への提供・預託はございません。本返信状への個人情報の記入に関しましては、同意頂けた場合にのみご記入・ご返信をお願いいたします。</p>	

\* 上記記載の内容に関しては、法令上個人情報の取得にあたる為、何卒ご理解・ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。